

Music Fusion in Kyoto 音楽祭 奏プログラム実施メニュー【基本案】

* 内容は、事前打合せを行い各学校の状況に応じて変更を加えていきます。

■基本情報

ジャンル	音楽（邦楽・クラシック）		
対象となる学年	小学校・中学校・支援学校（全学年）		
対象となる科目（例）	音楽（お箏×弦楽四重奏）		
実施可能地域	府内全域		
実施回数	1日	1回の 所要時間	45分
実施可能人数	学年単位、学校単位（応相談）		
実施団体 （個人の場合は 講師名）	団体名 一般社団法人 Style KYOTO 代表者名 代表理事 大崎康弘 担当者名 白方里枝		
連絡先 所在地等	〒601 - 8347 京都市南区吉祥院観音堂南町1-1 TEL/075-662-8883 FAX/ Email/ shirakata@style.kyoto		
団体、講師の プロフィール	<p>【出演者：大谷祥子ほか関西在住のクラシック演奏家】</p> <p>大谷祥子（箏曲家）：東京藝術大学音楽部邦楽科卒業。賢順全国箏曲コンクール第一位。文化庁インターンシップ研修生。文化庁芸術祭新人賞受賞。京都府文化功労賞受賞。日本の伝統文化、精神を涵養する教育にも力を入れ、「福井県伝統芸能新世代コンクール」「全国じょんから三味線競技会石川大会」を開催。これまでに京都市立芸術大学 非常勤講師、みやこ風韻副団長等を務める。現在、京都市「DO YOU KYOTO?」大使、古典の日推進委員会アドバイザー、公益財団法人かけはし芸術文化振興財団理事。日仏協会、日本現代箏曲研究会、京都市三曲協会、京都市芸術家協会、京都市音楽家クラブ所属。大谷邦楽院主宰。</p> <p>弦楽四重奏：関西を拠点とするオーケストラメンバーをはじめ、フリーランスで活躍するプロの演奏家で編成。</p> <p>【派遣団体 Style KYOTO】</p> <p>古くから伝統・文化を守りながら時代に合わせて「伝統と革新の融合」をし続けている古都京都で、京都発“Made in KYOTO”の音楽作品を世界に発信するため、コンサートや音楽イベントの企画・制作および配信コンテンツの制作を行う。また京都の文化を未来につなげる活動として、若き音楽家を中心に編成するStyle KYOTO管弦楽団の活動を通し、次世代への文化芸術の継承者を育成するとともに、幅広い世代や地域に、音楽を通じた感動体験を届ける活動を実施。</p>		
実施可能な 時期（期間）	実施校と相談（9月～11月初旬の平日）		

■実施内容

対象となる プログラム	鑑賞・体験
テーマ (タイトル)	『和楽器×洋楽器』
趣旨・目標 ねらい	和楽器と洋楽器の響きの違い、それぞれの楽器の成り立ちや役割などへの理解を深めつつ、新しい音楽体験を通して、それぞれの楽器や文化への理解を深める。プロの演奏家による生の演奏を身近に体験することで得た感動を通じて、豊かな心や人間性を育む。
全体計画 (案)	<p>《演奏鑑賞・楽器紹介》 代表的な邦楽器のひとつである箏（13絃箏）と弦楽四重奏（ヴァイオリン2、ヴィオラ1、チェロ1）で編成されたアンサンブルによる演奏を鑑賞。 弦楽四重奏の響き、お箏の音色、と楽器の仕組みを学習した後、箏と弦楽四重奏のコラボによる演奏を聴き、洋楽器と邦楽器のハーモニーを鑑賞。 演奏予定曲目：愛のあいさつ（エルガー作曲）、春の海（宮城道雄作曲）、春（ヴィヴァルディ作曲）、サウンドオブミュージック～私のお気に入り（ロジャース作曲）など</p> <p>《体験》 「質問・クイズコーナー」「指揮体験コーナー」など、プロの演奏家とのふれあいを通して特別な音楽体験を実現する。</p> <p>《構成イメージ》 鑑賞時間30分、体験時間15分（MC含む） 45分公演</p>
実施場所	体育館（ピアノは使用しません。）
講師等	演奏者5名、司会者1名、スタッフ2名 の予定
備考	<p>【学校でご用意頂きたいもの】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 司会者用の簡易音響設備（マイク1本程度） ・ 演奏者用控室・着替え部屋（1か2部屋） ・ 児童鑑賞エリアの設営が必要な場合は、リハーサル前に作業は完了しておいてください。 ・ 校歌歌唱を希望する場合は、アレンジをするため校歌の楽譜（ピアノ伴奏譜）を事前にご用意ください。 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 準備・リハーサルのため、当日、開場2時間前から会場を使用します。 ・ 演奏者用のイスや譜面台など、演奏に必要な備品は持ち込みます。